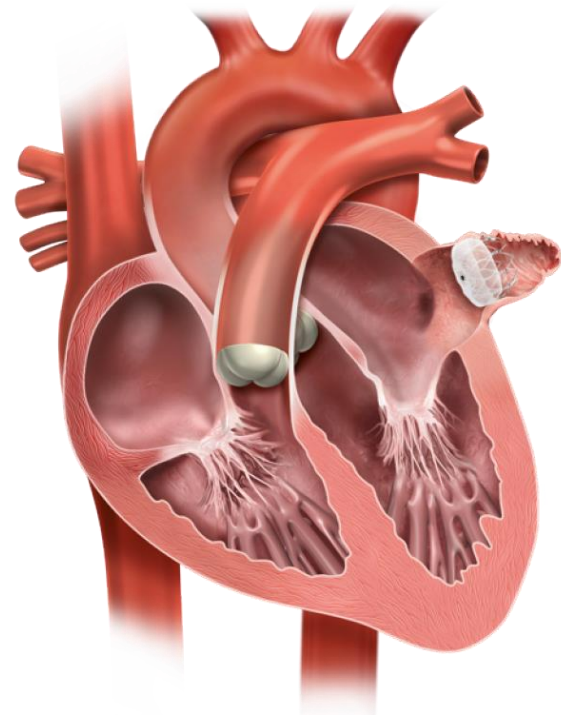


WATCHMAN

脳卒中を予防する左心耳閉鎖システム



WATCHMANFLX™
LEFT ATRIAL APPENDAGE CLOSURE DEVICE



当院では2021年10月より経皮的左心耳閉鎖術 (WATCHMAN)を開始いたしました。WATCHMANは、出血・塞栓リスクの高い、非弁膜症性心房細動に対して行うカテーテル治療です。当院では現在月4例程度行っております。

心房細動による脳梗塞：心房細動の多くが、左心耳内に血栓を生じ、脳血管に飛んでしまうと脳梗塞を発症します。これまでの予防法として抗凝固薬を生涯服用することが推奨されていましたが、消化管出血、脳出血、鼻出血、皮下出血など出血リスクのために服用できない患者さんや実際に出血を繰り返してしまう患者さんに、より有効で安全な治療が望まれていました。

WATCHMAN：開心術をすることなく、鼠径部の静脈からカテーテルを通して心臓に挿入し、左心耳を閉鎖するデバイスです。左心耳を塞ぐように設計されており、術後はWATCHMANを覆うように内皮化が進み、左心耳が永久的に閉鎖されることによって脳梗塞のリスクを抗凝固療法並みに低減させながら、抗凝固薬の服用を中止することができるようになります。



WATCHMANについてさらに詳しい説明

WATCHMANに関するお問い合わせは

東京大学医学部附属病院循環器内科

TEL(代表) 03-3815-5411

予約センター 03-5800-8630 (平日)

担当：三浦瑞樹

WATCHMAN外来：毎週木曜午前・午後